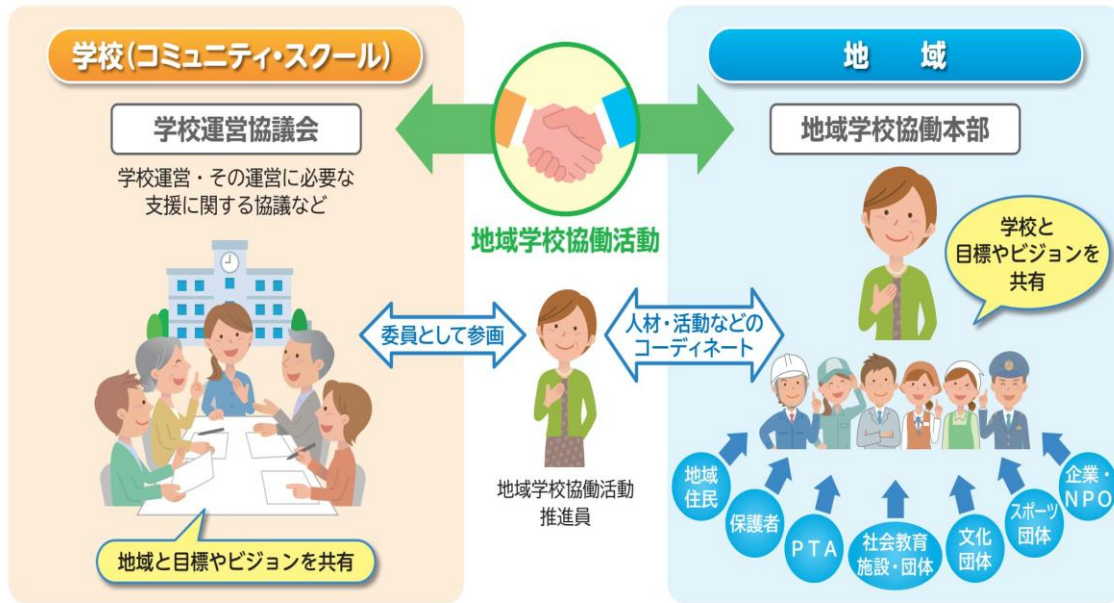


コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の 一体的推進

湯沢CS通信

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一つの取組として



令和6年1月19日第67号
 (発行) 湯沢市教育委員会
 学校教育課 CS担当

湯沢市でも文部科学省の方針にしたがい、CSと地域学校協働活動の一体的推進に努めています。例えば、学校運営協議会で学校の課題が示されて解決策が話し合われたときに、それを推進員の立場で地域学校協働活動として対応しています。具体的な実践を紹介します。

統括推進員 (市内全域)	鎌田 功さん
湯沢北地区 (湯沢東小・湯沢北中)	佐藤 美佳子さん
湯沢南地区 (湯沢西小・湯沢南中)	高橋 恵さん
山田地区 (山田小・山田中)	小松 裕美子さん
稲川地区 (稲川小・稲川中)	武石 寿子さん
雄勝地域 (雄勝小・雄勝中)	菅野 美枝子さん
皆瀬地域 (皆瀬小・皆瀬中)	菅野 忍さん
	高橋 禎悦さん
	高橋 文子さん

文部科学省はコミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進することにより、学校の教育目標の一層の実現と地域を活性化することを目指しています。

この推進の核となるのが地域学校協働活動推進員(以前は地域コーディネーターと呼ばれていました)です。学校と地域住民間の情報共有の仲立ちをし、学校と地域をつなぐ活動の企画を担当するとともに、学校運営協議会委員も務めています。湯沢市では次の方々が推進員に任命されて活躍しています。



稲川中学校学校の実践より



りんごをカットする
ボランティア

稲川中学校ではE・N・Aゼミの活動(総合的な学習)として、新商品を開発して、地域の業者の協力を得てそれらを商品化し、販売する活動を行いました。学校運営協議会としてもこの活動に全面的に支援することになりました。この

活動の一環として、生徒が考え

た商品の一つであるりんごチップスをつくるにあたり、委員の一人である地域学校協働活動推進員がボランティアを募り、りんごをカットする作業を手伝い、活動の成功に貢献しています。

湯沢西小学校の実践より

湯沢西小学校では、第二回学校運営協議会で委員、PTA役員、教員が参加して熟議(テーマは「読書好きの子どもを育てるために」)を行いました。この話合いで、親も子どもと一緒に読書すること、本に親しむ環境づくりをすることなどの意見が出されました。これを受けて、学校では、「夏休み家族で読書キャンペーン」と「推し本POPコンテスト」を実施しました。この企画で



児童の作品

地域学校協働活動推進員は、活動の周知を図るちらしやプレゼ

ント用の葉の作成、集計作業などに全面的に関わり、子どもたちが本に関わるきっかけづくりに貢献しています。

また、以前から推進員が図書ボランティアを募り、図書コーナーの環境を整えています。今回の企画で一層力を入れて整備したそうです。この活動も読書好きの子どもを育てる一翼を担っていることと思います。



プレゼント用の葉

教育委員会としての取組

教育委員会事務局ではCSを推進するためにCSダイレクターを配置するとともに、地域学校協働活動を推進するために統括推進員を委嘱しており、両者が連携を図ってCSと地域学校協働活動を一体的に推進しています。

「保護者、地域住民、教員へのCSの具体像やCSのよさが伝わっていないこと」が課題の一つになっており、その解決に向けた取組を進めてきました。教員に対しては、CSダイレクターが中心になりCS研修会やCS通信などで周知を図ってきましたが、保護者や地域住民に対する周知が十分ではない状況にありました。そこで、地域住民に対しては、統括推進員が地域自治組織や地域づくり協議会、民生・児童委員協議会などの場合に出向き、CSの具体像やよさについて説明し、周知を図る活動を行っています。

なお、保護者に対しては、それぞれの学校でPTAの全体会や学校報などを通して、自校のCSの取組を説明するなどして周知を図り、CSの一層の推進に結びつくようお願いいたします。